



秀峰祭をPRする実行委員

秀峰祭 あすから一般公開

同好会企画 目玉に

松本秀峰中等教育学校の文化祭「秀峰祭」が21日と22日に一般公開される。10回の節目を迎え、数日間の短い文化祭に生徒たちの無限の可能性を発揮しようと「夢幻」をテーマに、秀峰祭を盛り上げようと準備を進めている。

例年、生徒有志による同好会企画が目玉で、けん玉や古本市など20以上が予定されている。「プラネタリウム」は教室内に直径約4mの段ボール製ドームを設け、四季の星座を投影する。1年生恒例のモザイク画は「銀河鉄道」をモチーフにして高さ7m、幅5mの大作に仕上げた。春に英国へ海外研修に出向いた4年生の英語スピーチコンテストもある。

実行委員長の5年・荒井美穂さん(16)は「10年の節目なので思い入れも強い。先輩方の教えを踏まえ、これまでで一番良いものをと準備してきた。生徒それぞれの趣味も奥深く面白い」と語り「すべての企画を体感して楽しんでほしい」と来場を呼び掛けている。

開催時間は21日が午前9時40分～午後3時半、22日が午前9時～午後3時。会期中には学校説明会も開かれる。

(小岩井貴之)

節目の年 21、22日一般公開

夢や幻のような時を

松本秀峰・秀峰祭

松本秀峰中等教育学校(松本市埋橋2)は21、22日、文化祭「秀峰祭」を一般公開する。節目の10回目となる今年のテーマは「夢幻(むげん)」。1年に一度の「夢のような」時間であると同時に、「2日間という「幻のような」時間を無限に楽しみたいという。」(浜秋彦)

中高一貫の6学年のうち、学年企画で1年はモザイク画の展示、2年は校内で撮影した動画の上映、3年は脱出ゲーム、4年はお化



カウントダウンボードを囲み、ポスターやTシャツなどを持ってPRする文化祭実行委員会の役員



け屋敷、5年は模擬店と体験型のシューティングゲームをそれぞれ行う。部活企画はサッカー部のキックターゲット。

ほかに4年が英語のスピーチコンテスト、オーケストラ部はベーターベンの交響曲第7番第1楽章などの演奏会、演劇部は2つの演目の公演を行う。

文化祭実行委員会の荒井美穂委員長(5年)は「これまで先輩たちに教えてもらったことを生かし、先輩を超える文化祭にしたい」と意気込む。

公開は21日午前9時40分〜午後3時半、22日午前9時〜午後3時。同校☎31・83311